2026 年 10 月 09 日

Press Release／報道関係各位

【取材依頼】

神田外語大学

【新刊刊行のお知らせ】
神田外語大学 町田明広教授編 シリーズ第 4 弾
『幕末維新史への招待 親幕府派人物編』10 月 20 日(火)刊行
～20 人の人物から「幕末の幕府」像を捉え直す～

神田外語大学(千葉市美浜区／学長:芦沢真五)外国語学部国際コミュニケーション学科の町田明広教授が編集した新刊『幕末維新史への招待 親幕府派人物編』が、2026 年 10 月 20 日(火)に山川出版社より刊行されます。町田教授は日本近現代史(明治維新史)を専門とし、本学の附属研究機関「日本研究所」の所長も務めています。本書は「幕末維新史への招待」シリーズの第 4 弾として、これまで十分に語られてこなかった幕閣・幕臣をはじめ、幕府と近しい立場にあった人物たちに光を当てた一冊です。小栗忠順、井伊直弼、徳川慶喜、近藤勇、孝明天皇など 20 人を取り上げ、それぞれの人物の立場や行動、幕府との関わりを読み解くことで、「無為無策で、時代遅れ」といった従来のイメージとは異なる「幕末の幕府」像に迫ります。前作『幕末維新史への招待 全国諸藩編』では、朝廷・幕府・諸藩の関係が目まぐるしく変化した幕末期を、全国 19 藩の動向から描き出しました。本作では、そこから視点を「人物」へと移し、幕府の動向を左右した天皇・公家・将軍・一門、幕府を指揮した譜代大名、さまざまな分野から幕府を支えた幕臣という 3 つの視点から、幕末維新史を読み解きます。

書籍情報

「無為無策で、時代遅れ」ではなかった!! 常識を覆し、「幕末の幕府」像を見直す。
小栗忠順、井伊直弼、徳川慶喜、近藤勇、孝明天皇――



書 名:『幕末維新史への招待 親幕府派人物編』

編 集: 神田外語大学教授 町田明広

発 行: 山川出版社

体 裁: 四六・256 ページ

価 格: 本体 1980 円(税込)

発 売: 全国書店

発売日:2026年10月20日(火)

ＩＳＢＮ: 978-4-634-15273-1

＜目次＞
はじめに――従来のイメージを大きく変える幕末の幕府像 町田明広
第1部 幕府の動向を左右した天皇・公家・将軍・一門編
1章 孝明天皇 水戸徳川家との繋がりからみえてくる新たな実像 家近良樹

2章　中川宮朝彦親王　幕府存続のための政治活動で影響力を発揮　白石烈
3章　徳川斉昭　将軍の威光を守るために「征夷」を肩代わりした政治家　篠﨑佑太
4章　松平春嶽　幕府再建構想から公議路線へ、朝幕関係に不可欠な存在　角鹿尚計
5章　天璋院「男ノ様ナル御方」と評された徳川家救済活動　藤田英昭
6章　徳川慶喜　外国との関係強化の背景にあった政権基盤の脆弱性　久住真也
第2部　幕府を指揮した譜代大名編
7章　阿部正弘　再評価高まる国内外の情勢を見極めたリアリスト　後藤敦史
8章　井伊直弼　主君家定との関係から探る大老政治の背景　野田浩子
9章　安藤信正　「幕末の外務大臣」の忘却された事績　福岡万里子
10 章　小笠原長行　書生論を実践した異色の老中　奈良勝司
第3部　さまざまな分野から幕府を支えた幕臣編
11 章　岩瀬忠震　幕末外交を動かした「最高峰の知性」とその挫折　町田明広
12 章　永井尚志　海軍建設・大政奉還を支えた〝黒子〟の幕吏　濱口裕介
13 章　小栗忠順　理解者に恵まれなかった、不遇な「近代日本の父」　門松秀樹
14 章　勝海舟　徳川宗家を守り抜いた「大不忠」の男　和田勤
15 章　柴田剛中　知られざる幕府外交の司令塔　塚越俊志
16 章　矢田堀鴻　明治海軍の礎を築いた影の先駆者　神谷大介
17 章　山岡鉄舟　慶喜の命を救った「一番槍」の誉　岩下哲典
18 章　西周　西洋文明国家と伍するため。文武両道の官僚洋学者　松田清
19 章　原市之進　「尊攘」の大義に生き兵庫開港に殉じた慶喜最側近　由波俊幸
20 章　近藤勇　武士を切望した、時勢を読めない愚者だったのか　中村武生

編者紹介：町田 明広（まちだ あきひろ）
神田外語大学 外国語学部 国際コミュニケーション学科 教授／日本研究所所長

1962 年長野県生まれ。上智大学文学部・慶應義塾大学文学部卒業、佛教大学大学院文学研究科博士後期課程修了。著作に『島津久光・幕末政治の焦点』（講談社選書メチエ）、『攘夷の幕末史』（講談社学術文庫）、『グローバル幕末史』（草思社）、『薩長同盟論』（人文書院）、『新説 坂本龍馬』（集英社インターナショナル）、『人物から読む幕末史の最前線』（集英社インターナショナル）などがある。

町田明広教授コメント

幕末維新期を扱った一般向けの書物では、薩長を中心とした「倒幕側」の人物が圧倒的な存在感を放ち、幕府側の人物は「時代の敗者」として後景に退かされてきました。「幕府の滅亡は必然であった」という先入観はいまなお根強いものの、近年の研究の進展は、こうした固定観念を大きく揺るがしています。本書では、幕府の動向を左右した天皇・公家・将軍・一門、大老・老中として幕府を指揮した大名、さまざまな分野から幕府を支えた幕臣の 20 名を取り上げました。人物の思想や行動を個性だけに求めず、それらを規定した同時代の秩序や政治・社会のなかから丁寧に説き起こしています。その際、伝説化された人物については先入観を排して評価をやり直し、歴史に埋もれた人物については史料から実像を発掘することで、人物顕彰に陥ることなく新たな政治史の構築を目指しました。本書の役割は、「幕末期幕府の再評価」という研究の潮流を一般の読者にわかりやすく届けるとともに、幕府の滅亡は本当に「必然」だったのかを改めて問い直すことです。

神田外語大学　日本研究所について

神田外語大学は外国語系の大学ではありますが、世界の人々と対話する上で必要不可欠となる日本の歴史や文化を学び、学生が日本に対する理解を深められるようにすることを目的とした「神田外語大学　日本研究所」を有しています。1992 年に設立されたもので、日本の文化や社会、歴史、思想、美術などを専門とする本学の日本人・外国人教員の多様性を生かし、各種のテーマを設定して共同研究や講演会などをおこなっています。学生が日本に対する理解を深められるようにすることを目指しています。

参考

【神田外語大学】https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/
【神田外語大学 日本研究所】https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/labo/rijs/
【山川出版社】https://onlineshop.yamakawa.co.jp/product/15273

※本学から配信されるプレスリリースは SDGs に基づいた教育環境充実の一環として、UD(ユニバーサルデザイン)フォントで作成されています。
https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/news

報道関係の方のお問い合わせ先

神田外語グループ(学校法人佐野学園) グループコミュニケーション部 担当:三上山 雄亮
TEL:03-3258-5837(平日 9:30~17:00) FAX:03-5298-4123 E-mail:
media@kandagaigo.ac.jp